首都圏大曲会会報　第19号

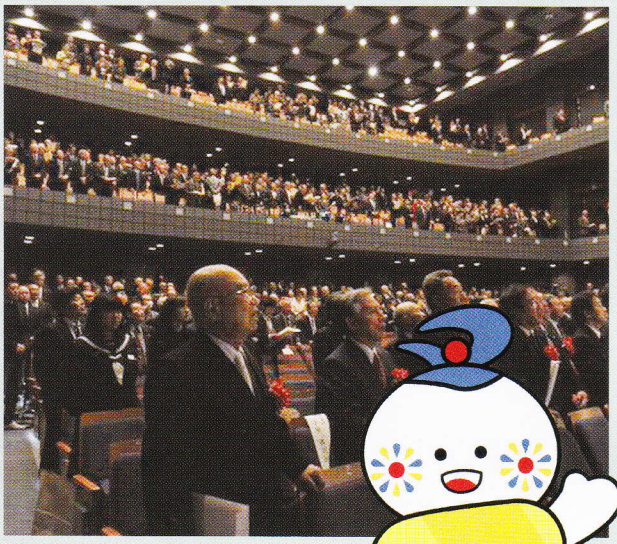
ふるさと大曲

題字　澁谷一男

平成27年8月発行　発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339　FAX 03(6273)0081　e-メール：info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info



只見川の上流　田子倉湖に朝日が昇る

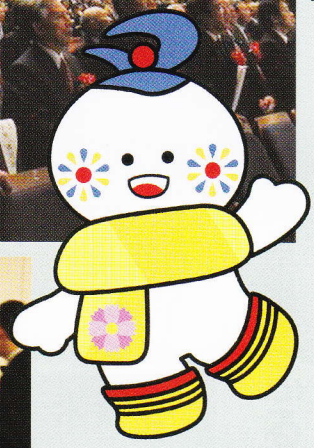


出席者全員で秋田県民歌を斉唱





仲間が集まり、“大曲の花火”を観てカラオケを歌って(アルカディア市ヶ谷)



まるびちゃん

文化をつなぎ
未来を拓く　大曲



大仙市誕生10周年記念式典で栗林市長の式辞(大曲市民会館)

秋田県特別栽培農産物認証

内城菌(うちしろきん)パワーで
こだわりの
有機米
『アキタコマチ』

安全・安心
食感が自慢

アキタコマチは
今年も
沃(こ)えた仙北平野で
順調に
育っています。

＊内城菌農法

画期的なパワーを発揮する内城菌は、従来厄介者として処理されてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易くなり、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。

生産者佐藤久男氏のこだわりは、この肥料を使って生産する安全・安心の有機米『アキタコマチ』です。



有機米『こだわり米のアキタコマチ』Fax注文票

ご注文Fax番号⇒　0187－62－5614

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	25 kg袋
①減農薬　化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壌)	3,000 円 (　　個)	5,000 円 (　　個)	11,500 円 (　　個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 200 円	1 袋 400 円
②減農薬　化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料＋化学肥料散布土壌)	2,300 円 (　　個)	3,800 円 (　　個)	9,000 円 (　　個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 200 円	1 袋 400 円
ご注文合計数	(　　個)	(　　個)	(　　個)
品物＋送料合計	円	円	円

ご住所⇒　〒

お名前⇒　　＊新米ご予約の方は○印⇒　□

電　話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。
今年も「こだわりのアキタコマチ」は、刈取り後の10月から販売を開始します。
ただいま新米の予約ご注文も受け付けております。どうぞご用命ください。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42　生産・販売者 佐藤　久男
電話0187(66)1702　Fax0187(62)5614

市広報「だいせん日和」から

スポーツで 輝け「だいせん」！



走りの基本は、「背筋を真っ直ぐ伸ばして走ること。スタートのときは両足に体重をかけよう」。大仙市南外地域出身で、アテネ五輪陸上競技（4×400リレー）代表の伊藤友宏さんは子どもたちを前にこう話しました。



子どもたちに走り方を指導するアテネ五輪代表の伊東友広さん

5月10日、花館運動公園グランド。太陽が薄曇りの空の向こうに隠れ、時折り小雨が降る生憎の天気にもかかわらず、「一等賞をとりたい」「野球やサッカーでもっと活躍したい」――そんな思いを胸に、集まった子どもたちとその保護者は約110人。子どもたちは「かけっこのプロ」から手ほどきを受けながら楽しげに芝生の上を思いっきり走り、思いっきり跳びました。（以下略）＝「だいせん日和」7月号より

首都圏大曲会会報 『ふるさと大曲』 第19号 目次

大仙市誕生10周年を祝う！
栗林市長式辞「成果を礎に次のステージへ踏み出そう」……4

◆第6回 東京で〝大曲の花火〟を観る会
賢木新悦さんの講演・高階光義さん制作DVD・熱唱カラオケ大会……8

◆エッセー 夏が来た！ 大曲の季節
田村将悟（大仙市ものづくり課主任）・辻 卓也（土屋館衆代表）・大釜茂璋（首都圏大曲会会長）……10

◇大仙市まちづくり課を新設
課長に高橋正人氏就任……19

第89回全国花火競技大会
大曲の花火 ― 創造花火 新たな50年へ船出の年 賢木 新悦……12

◇大仙市で活躍する企業訪問シリーズ⑨
トラックのディーゼルエンジン廻り部品 **株式会社 秋田ルミナ**……14

大仙市広報「だいせん日和」7月号より
スポーツで輝け「だいせん」！ 3
応援してます！大曲出身の若手アーティストたち 26
「森と水の調べ」都わすれの記念音楽会 18
会員のひろば 朱華・黒皮羽生 27
ふるさと納税のご案内 22
編集後記 27

カメラ紀行 残雪と新緑を求めて（田子倉ダム湖を訪ねる） 齊藤 貞助……24
表紙写真撮影 大仙市役所、斉藤貞助

大仙市誕生10周年を祝う！



オープニングを飾った祝祭日弦楽５重奏団

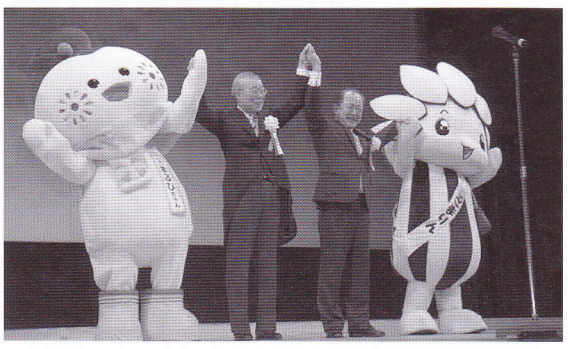


大曲市民会館は、誕生10周年を祝う市民で埋め尽くされた

大曲市など８市町村が合併し、大仙市としてスタートしたのは平成17年３月22日でした。今年は誕生して10年目となります。これを記念して今年３月22日、大曲市民会館で記念式典が開かれ多くの市民が参加しました。これには首都圏で活動する各ふるさと会も招かれ、首都圏大曲会からは大釜会長が参加しました。式典では、市の発展に貢献した個人や団体を表彰、市の新しいマスコットキャラクターの披露、神奈川県座間市との友好交流都市協定の報告などが行われました。

ふるさとを愛し　緑の山河を守り
美しいまちをつくります（大仙市民憲章より）

この日大仙市一帯は好天に恵まれ、雪国の春先らしい乾燥して透明感溢れる一日となりました。会場の大曲市民会館には約七五〇名の市民が参加しました。



新しい大仙市マスコットキャラクターの「まるびちゃん」を真ん中に、友好交流都市協定を締結した栗林次美大仙市長と神奈川県座間市の遠藤三紀夫市長

式典のオープニングは「祝祭日管弦５重奏団」による演奏に続いて、出席者全員による大仙市民歌の斉唱で幕を開けました。

モーニングの正装で身を固めた栗林市長は式辞で「この10年は基礎固めから発展して成熟へ、市民とともに歩んで来た」と振り返り、「これまで市民の皆さまとともに築いてきた成果を礎に、新たな総合計画・自治基本条例、そしてまちづくりの理想と決意を込めて、市制５周年に制定した市民憲章のもと、市民が誇りと責任をもって活躍できるまちづくりを推進する。『人が活き人が集う夢のある田園交流都市』が実現できるよう市民の皆さまと歩みを進めていきたい」と、これからの10年の展望を述べました。

続いて、市の発展に当たり各分野で功績のあった８個人・１団体を表彰。芸術・文化・スポーツ・学術などの分野で市民の誇りとなる活躍をし、広く親しまれて市の名声を高める活躍をされた２人の方に市民賞、各分野で優れた功績を収めた３個人・１団体に特別賞、そして各分野で市の発展に貢献した11個人・５団体



大仙市誕生10周年の式辞を述べる栗林市長

成果を礎に次のステージへ

栗林市長式辞　市民と協働で更なる推進



「秀麗無比なる鳥海山よ　狂瀾吠え立つ男鹿半島よ～」　10周年を祝い会場を埋め尽くした市民たちは、全員声を合わせて秋田県民歌を歌った



大仙市が誕生した平成17年3月22日に生まれた（写真左から）賢木秀色（さかきひいろ）くん、柿崎綾夢（りむ）くん、伊藤飛翔（つばさ）くん（「大仙市誕生10周年記念誌」より）

に感謝状が贈られました。

表彰された方々を代表して教育功労で表彰を受けた信田健さん（西仙北）が謝辞を述べました。

続く第2部は、進行役のお手伝い役として、大仙市誕生と同じ日に誕生した賢木秀色（さかきひいろ　大曲小）くん、柿崎綾夢（かきざきりむ　東大曲小）くん、伊藤飛翔（いとうつばさ　西仙北小）くんの3人が登場。和やかな雰囲気のなか、新しいマスコットキャラクター「まるびちゃん」の発表と考案者の中田結音さん（大曲中）の表彰で始まりました。

続いて3月21日に締結された神奈川県座間市との友好交流都市協定の報告があり、座間市遠藤三紀夫市長が大仙市誕生10周年と協定締結を祝って挨拶されました。

その後広報写真で10年を振り返り、各地域の伝統行事や風景、市民のインタビューから市に対する今後の思いや期待を伝える映像を上映し、フィナーレへ向かいました。

最後は出席者全員で秋田県民歌を合唱し、次の10年に向けて、「こころをつなぎ希望にみちた未来の創造へ」勇躍踏み出しました。

大仙市10年

発展・振興への尽力讃え

「大仙市功績者」として表彰

教育文化、地域医療、産業振興など

大仙市は3月22日午後2時から、市誕生10周年の祝賀式典を挙行しました。式典において、市の振興・発展に功績を上げた個人や団体に、功労賞、市民賞、感謝状を贈り功績を讃えました。夕方5時からは大曲エンパイアホテルで、栄誉を称える祝賀パーティーが開催されました。



ンパイアホテル)


栗林次美大仙市長


大野忠右衛門県会議員


首都圏大曲会　大釜茂璋会長による乾杯の発声


富岡喜芳市議会副議長

受賞者を囲む祝賀会には栗林市長を初め、功績を讃え表彰をされた方々や多くの市民が出席しました。受賞者入場に続き挨拶に立った栗林市長は、この10年間を振返りながら多くの方々の努力を讃え、今回表彰を受けた人々、団体の功績に深甚の謝意を示すとともに、これからの大仙市の発展に繋げていきたいと挨拶しました。引続き大野忠右衛門秋田県会議員を初め各界代表からの祝辞がありました。

表彰を祝う乾杯の発声は、首都圏大曲会の大釜茂璋会長が務めました。東京で聞く元気な大仙市の様子を話し、地元と一緒になって大仙市の発展に協力したいと話し、高らかに乾杯しました。

これに先立つ記念式典で、教育功労者として受賞した信田健さんが謝辞を述べました。信田さんは旧西仙北町の出身ですが、大仙市初代の教育委員会委員長として、教育行政の基礎づくりに貢献、本市の教育振興への寄与が受賞の理由です。

今回の受賞者は、地域医療、商工業、教育文化、芸術文化、スポーツ振興など多彩な分野にわたります。地味ながら地域の人々が力を合わせ、営々と培ってきた数々の成果から、そこに大仙市の奥深いエネルギーの根源を見る思いがしました。

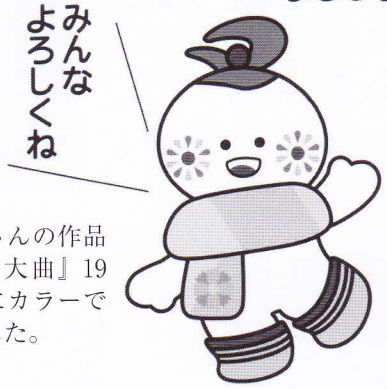




さすがに民謡の国　力が入る民謡と踊りのステージ

元気でかわいい まるびちゃん 誕生！

大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん



中田結音さんの作品『ふるさと大曲』19号の表紙にカラーで掲載しました。

大仙市の中学生議会で、「大仙市のマスコットキャラクターを作ってはどうか」と提案がありました。そこで大仙市の中学生からマスコットキャラクターを募集したところ、市内９つの中学校528名の生徒から、535作品の応募がありました。審査の結果、最優秀作品１点、優秀作品６点と、入賞14点が決定しました。最優秀賞　中田結音さん（大曲中学校）　優秀賞　富樫美生さん（大曲中学校）大屋敷美緒さん（大曲南中学校）佐々木光さん・嵯峨麗夏さん・藤林奏羽さん（以上西仙北中学校）佐々木梨那さん（協和中学校）

☆　まるびちゃんプロフィール　☆

大仙市といえば「花火」ということから、全体的に花火玉をイメージした丸い体型となっています。

冬季には多くの積雪があるため雪を連想させる白色を基調としています。頭には大仙市市章、首には大仙市の花「コスモス」をあしらった刈和野の大綱引きの綱をモチーフとしたマフラーを巻き、背中には市の鳥「カワセミ」と「未来へとはばたく大仙市」という願いを込めて羽があります。

そして、頬には花火が輝きます。



受賞者の功績を讃えて大勢の参加を得た祝賀会（大曲エ



祝福の拍手を受けて受賞者が入場した



艶やかな手踊りが添えられて、祝賀会はいちだんと華やぎ会場は盛り上がる

祝賀会では、甲子園初出場の大曲工業高校野球部を讃える話題も賑やかでした。

確かに入場式における堂々たる選手団の行進は、見ていて血のたぎるものがありました。躍進する大仙市の勢いをそのまま受け継いで、甲子園の地で活躍してもらいたいと話しているうちに、胸に熱く迫るものがありました。

選手団にあやかる如く、ステージでは、芸術振興で感謝状を受けた佐藤令昌さん、佐藤エイ子さん社中の民謡や踊りが賑やかに披露されました。



民謡の盛んな大仙市、若い女性の歌い手さんに「さすが大仙！」

大曲商工会議所
会頭　佐々木　繁治
〒014-0016　秋田県大仙市若竹町33番７号
TEL　0187－62－1262　FAX 0187－62－1265
URL　http://www.obako.or.jp/kaigaisho/

第6回 東京で“大曲の花火”を観る会

参加者多く　熱唱のカラオケ大会

大曲には大曲という土地の風土や人情などによって生まれ、育まれた文化があります。私たちの古里大曲で、その最たるものは何と言っても〝大曲の花火〟





大釜会長　歓迎の挨拶

〝大曲の花火〟について話そう
大曲商工会議所副会頭
賢木新悦さんの講演が好評



ユーモア交えて賢木副会頭

日本一いや世界で一番誰もが認める大曲の花火。現地でこれを見られなかった会員のために、首都圏大曲会冬の定例行事として開催するイベント「東京で大曲の花火を観る会」。それならカラオケも一緒に楽しんじゃえと始めたこの会。昨年は豪雪で、雪を漕ぎ、長靴で参加する散々な思いをしましたが、今年開催の2月21日は春の兆しすら感じる穏やかな日でした。

今回は大曲商工会議所副会頭の賢木新悦さんの講演「大曲の花火について話そう」が新たに加わり大好評でした。

大曲の花火が始まって百年以上を経過し、戦争などで中止の年を外しても昨年は88回めの大会。伝統を感じたものです。

そしてこの会も6回目を数え、特に今回は商工会議所副会頭で大曲花火倶楽部顧問、本誌でも大曲の花火について色々解説をしてくださることで知られる賢木新悦さんの特別講演が組み込まれました。





佐藤主事（写真右）と左の写真は大仙市の近況を説明する高橋参事（現企画部まちづくり課長）

太平洋戦争を間にして約百年の歴史を有する大曲の花火。その間、創造花火を発案し、数々の偉業を推進して、大曲の花火中興の祖と言われる佐藤勲さんの話などを交え、賢木さんのお話はユーモアの中にも感銘深いものでした。

花火弁当に秋田銘酒を取り寄せ

大仙市役所から企画部総合政策課の高橋正人参事（現まちづくり課課長）と佐藤淳哉主事が参加してくださいました。高橋参事からは、三月の誕生十周年を迎える大仙市の近況として、開発が進む大曲通町地区再開発事業の進行状況など多岐にわたる話がありました。



この二人は大曲中学校同級生

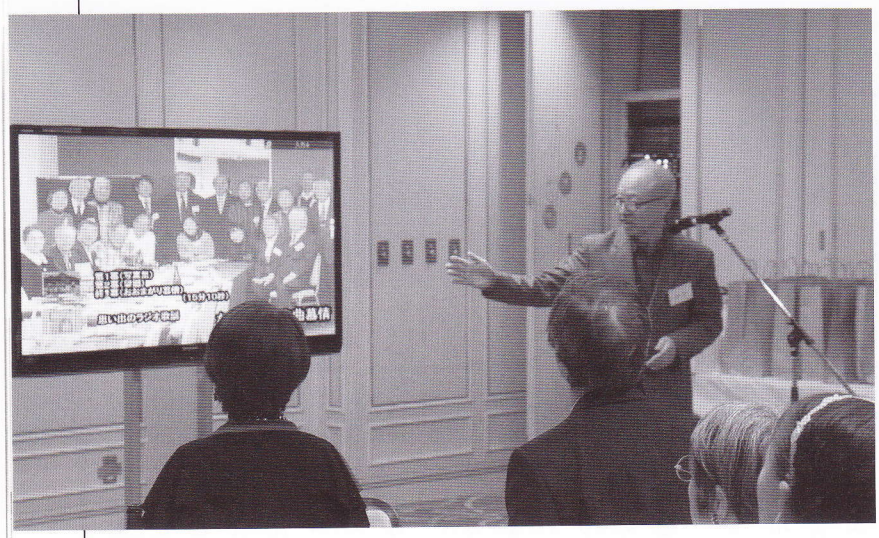
今年もにしせんぼく会のみなさんなど、他のふるさと会からの参加とともに、『ふるさと大曲』の表紙広告でお馴染みの「夏瀬温泉都わすれ」の佐藤京子女将や、総会の参加記念品として「こだわりのアキタコマチ」を提供してくださる大仙市高関の佐藤久男さんも参加してくださり、豪雪の昨年とは違った賑やかな花火観賞会でした。

花火の映像は、これまでのプロジェクターをデジタルテレビに替えたことにより、きわめてシャープな映像になったと喜ばれました。花火弁当や大曲から直接取り寄せた秋田銘酒にも参加者は大喜びでした。

カラオケが始まると、



笑顔がこぼれる昔なじみ



映像を見ながら解説をするDVD制作の高階光義さん

「なつかしの大曲慕情」

高階光義さん制作のDVD

望郷の思いは今も尽きなく…

ふるさと偲ぶ映像 感動する人が多く



なつかしの画面に見入る参加者たち

昨年この会で「わが青春・大曲そして東京」（DVD）を発表した高階光義さん（大曲会会員）が、今年の会でも「なつかしの大曲慕情」を発表しました。

今年は、第一幕「写真集」、第二幕「望郷」、第三幕「おおまがり慕情」と3幕による構成です。

第一幕は、地元の写真家大野源二郎さんの写真集から、昭和20年から30年代を振返り、第二幕の望郷編とともに、懐かしいあの頃の大曲が目の前に展開されます。

第三幕はお馴染みの黒皮羽生さんの作詞曲「おおまがり慕情」をバックに流し、丸子橋界隈が情緒感豊かに表現され、見る人の目をしっとりと奪います。

大曲のシンボルは街の西方に形よく連なる西山一帯、特に丸子橋から見る太平山は、優しい母の面影すら感じます。高階さんは来年の会まで望郷のDVDを再度作成し、今年同様この会で発表したいと話しています。



司会の大友副会長

であることは間違いありません。大曲会にも、大曲を離れて既に何十年経ったという人は大勢います。その方々の思い出の中にも〝大曲の花火〟の存在はじつに確かなものがあります。



参加者全員が揃って笑顔の絶えない東京中良野会のみなさん



妙乃湯の佐藤女将も特別参加

待ってましたとばかりに歌う希望者は後を絶たず、年代相応の歌謡曲あり民謡あり。この大会のために練習を積んだ人も多かったようです。第6回にして、仲間



男前が5人揃いました

たちが呼びかけあって参加してくださった東京・中良野会のように、大曲会を支えてくださる会員がいて一層充実して来た「大曲の花火を観てカラオケを楽しむ会」です。（O）



高階さん（中）嬉しそうですね

心と心のふれあいのスペース



ご婚礼・ご宿泊・レストラン各種ご宴会に！

ご利用をお待ち申し上げます。

大曲エンパイヤホテル

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8番17号
Tel 0187-63-1131 Fax 0187-63-1541
URL http://o-empire.com/

■エッセー

夏が来た！
大曲の季節

微かな風に乗って流れ来る遠い祭囃子の音。
西山に真っ白な雲が浮かんでいる。青い穂が目立ち始めた稲田の上を風が走る。雄物川の水が眩しく光って大曲の夏。もうすぐ花火がやってくる。

百聞は一見に如かず

田村将悟（大仙市まちづくり課主任）

今年、私の母校である大曲工業高校が春の甲子園大会に出場しました。私は陸上部でしたが陸上競技場と野球場は隣でしたので、野球部が毎日どの部活よりも遅くまで練習していたのが記憶に残っています。

県内では強豪とされていたものの、なかなか甲子園出場が叶わなかった本校の初出場と初勝利にはＯＢはもちろん、大仙市民や県外にいる市出身者も沸いたことと思います。今年の首都圏大曲会総会でも、その話で大いに盛り上がるのではないでしょうか。

一昨年、昨年と会場の後方から皆さんの笑顔を拝見しておりますが、ふるさとから離れた土地で、同郷の人間と語り合うことは何事にも代え難い楽しい時間だろうなと毎回感じております。

かく言う私も、十九歳から三十歳までの十一年間、大仙市（生まれは旧中仙町です）を離れていました。自らの生まれ育った土地を外から見ることで、これまで気付いていなかった数々の面を発見できたりするものですが、そのうち二年間は青年海外協力隊としてパプアニューギニアで暮らしておりました。その間は「大仙市」というより、「日本」に対して非常に多くのことに気付かされました。

一つ例をご紹介いたしますと、現地の人があまりにも時間にルーズなので、「日本人は何事も5分前行動をする」と教えたことがあります。私は「すごい！」といった反応を予想していたのですが、実際に返って来たのは、「Funny（おもしろい、こっけい）」という言葉でした。良し悪しの物差しの上にすら無く、日本人の「時間を守る」という意識がいかに強く、特殊なものであるかを直に体験することができました。

最近は日本と海外の文化の違いをおもしろおかしく取り上げたり、芸能人が海外へ行って現地の人と交流したりといったテレビ番組がよくありますが、第三者から間接的に情報を与えられるのと、自分で実際に体験するのとでは大きな違いがあるものです。

まさに「百聞は一見にしかず」を強く実感したわけです。

大曲の様々な魅力を映画で世界に発信

辻卓也（土屋館衆　代表）

今、大曲では大曲商工会議所青年部、花火通り商店街、大曲納豆汁旨めもの研究会、土屋館衆、大曲青年会議所といった若い世代の団体が、地元の皆さんが和やかに安心して暮らせるよう、また次代を担う子ども達と、県外に住む地縁血縁の皆さまが、郷里に矜持を持ち続けて頂けるよう、街を元気にするための様々な事業に取り組んでおります。

しかし全国に向けて本当にインパクトある広報・告知が出来ているか、また実際に画期的な成果を上げられているかというと、未だ道は半ばです。決して自己満足で終わらぬよう、価値ある活動とするべく日々精進を続けています。

花火だけではない、大曲の魅力溢れるヒト・コト・モノを広く沢山の方に知って頂き、そして実際に大曲へ足を運んで貰うにはどうしたら良いか。昨年、偶然の出会いから一つの新たな可能性が生まれました。

それは大曲を舞台とした映画を制作することです。「日々の活動の中で各々が発見し、培ってきた地元の魅力を集結させ、ふんだんに盛り込んだ映画を自分達で作り、全国・世界で公開しよう！　そして映画を宣伝素材としながら、地域産品や観光商品のブランド力をアップし、県外・世界

もともとは漢詩の故事であったこのことわざには、後世で次のような言葉が付け加えられたそうです。

「百見は一考（考える）にしかず、百考は一行（行動する）にしかず、百行は一果（成果を出す）にしかず」、元々のことわざの意味からだいぶ飛躍している感じもしますが、日常生活から仕事まで、たいていのことに通じる言葉ではないでしょうか。

私も漠然と日々を過ごしてしまいがちですが、何事にもその先の目標を見定めた上で取り組みたいものです。

（たむら　しょうご）





映画で地域ブランドづくりシンポジウム！
2015年2月開催　大仙市にて

に売り出そう！」と動き出しています。現在は邦画の人気も高く、地方を舞台とした映画制作・観光誘致も実際に行われ始めています。

「良い素材は沢山あるのに、その価値を見いだせず、活かし方、見せ方、売り方が下手くそな秋田県人」という不名誉なレッテルを自ら貼り替えるためのカンフル剤になるはずです。そのために街中の30代から40代の若手有志が出資して、自分達のまちづくり会社【ひなび大曲ＬＬＰ】も設立しました。

映画はあくまで大曲の広報ツールの一つですが、その制作には市民やご縁のある方々にどんどん参画してもらうことで、自分達の街の映画を自分達で作るという協働意識を醸成するための題材となり、また次世代を担う子ども達にも郷里を誇ってもらえる良き材料となることでしょう。

また【今の大曲の姿と人々の生活】を映像と物語に記録し、後世に残すことにも大変な価値があるはず。

経済産業省は地域を活性化できる事業として注目し、併せてご支援も戴くことが出来ました。平成27年度は商品開発と拠点づくり、映画制作の準備、平成28年度には撮影・編集、そして平成29年度の全国公開を目指しています。首都圏大曲会の皆さまにも是非応援頂きたいと思います。

話は変わり、今年の【ご当地グルメで街おこしの祭典「Ｂ－１グランプリ」】は10月3～4日に青森県十和田市で開催されます。大曲納豆汁旨めもの研究会は、高菜とネギを栽培してくれている地元大曲農業高校の生徒さん達と一緒に、日頃のまちづくり活動を発表し、大曲の素晴らしさを全国へ発信すべく「大曲納豆汁」で今年も出展します。こちらも皆さまの応援、よろしくお願いします！

（つじ　たくや）

イナゴ捕り

大釜茂璋（首都圏大曲会会長）

イナゴはハッタギ、トンボをダンブリと言った。因みに牛はベゴ、カエルはビッキだ。戦争は終わったが交通はまだまだ不便だった。山に囲まれ、海からは程遠い仙北平野（横手盆地）までは、海からの魚介類や海藻などはなかなか届かず、そんなことから発育盛りの子ども達のタンパク源を補強したものは、専ら鮒や鯰などの川魚とイナゴだった。細身の男の子が相撲を取ると「ほら、ハッタギ山がんばれ」と声が飛んだものだ。

奥羽山脈の頂き付近から紅葉が麓に下りて来ることになると、農家は刈り入れの最盛期を迎える。そのころ学校では、全校生徒が揃ってイナゴ捕りに出かける。

今は廃校になっているが、田んぼの中に建つ当時の長野町立鑓見内小学校。全校生二百数名の小さな学校だった。

天気が良ければ明日はイナゴ捕りと言われて、子ども達はそれぞれ手拭いなどで作って貰った袋を手に登校する。

真っ青に晴れあがった日のイナゴ捕りは、まるで遠足の日の朝のように楽しい。みんな張り切っている。刈り取られた田んぼは広々と、遠くに、青く霞んだ鳥海山が美しい。

子ども達は解放されたクモの子のように田んぼ一面に散り、イナゴと追い駆けっこだ。

今のように農薬を使わなかった時代だから、イナゴはいっぱいいた。まだ稲の残るあぜ道を歩くと、びっくりして逃げようとするのだろうが、四方八方からイナゴが飛び出してくる。それを素早く手づかみで捕獲して布袋に入れる。勢いよく飛んで逃げるイナゴを追っかけて、子ども達もわいわい追いかける。

あれは子ども達にとっていい運動になった。夢中で走り回っているうちに昼がきて、お腹はぺこぺこだ。学校に戻ると大きな鍋に熱湯がたぎり、準備が出来ている。捕ったイナゴを百度の湯にぶち込み塩ゆでにすると料理はそれで終わり。今でこそ砂糖で甘く味付けされるが、何しろ砂糖などは贅沢品と言うよりは無かったのだ。塩味のハッタギが精いっぱいだった。

しかしあの塩味のハッタギが私たちの健康を守り、蛋白質が子ども達の身体をつくってくれたと思えば、今ではハッタギの姿が愛おしい。

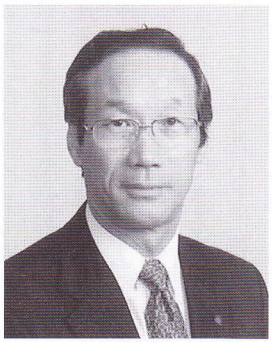
（おおかま　しげあき）

乳頭温泉郷
黒湯温泉
〒014-1201　秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214　FAX 0187-46-2280
HP　http://www.kuroyu.com

第89回全国花火競技大会

大曲の花火

創造花火　新たな50年への船出



賢木新悦さん

大曲商工会議所副会頭
賢木新悦

奥羽山脈の上に入道雲が湧いて、田んぼに青い稲穂がつんつん突き出て来ると、大曲の郊外一帯には夏の気配が漲ります。もうすぐ花火だと、街の子も郊外育ちの子らも、その日の来るのを指折り数えて待つのです。まして朝からポンポン花火の音が聞こえる花火の日は、今思い出しても胸の高鳴りを感じます。あれから何十年、〝大曲の花火〟は最早や〝世界の花火〟となりました。

第89回全国花火競技会が８月22日（土）に開催されます。実行委員会では現在、最終の詰めの作業に追われています。

さて、昨年は創造花火半世紀という記念すべき年でした。今年は新たな創造花火50年に向かってスタートです。

新たに打ち上げ場を整備　―雨でも大丈夫

花火会場

昨年の第88回の花火打上げ会場は、大会寸前の集中豪雨で二十センチの水が溜まり、排水を二日間に亘って行いました。また、泥田と化した一帯は車の搬入が儘ならず重機で引っ張り、打ち上げ花火設置場所には大型ダンプ五〇台の砂を投入いたし、ようやく開始に間に合わせました。

今年は、雨でも花火師が安全に打ち上げが出来るよう、打上げ場の整備を行う準備を進めています。

また、金谷橋の解体工事が進み観覧席側の橋桁が撤去されました。新しい橋の大曲花火大橋との間が三十メートル広がり、これによって安全を確保いたしました。

大会テーマ

大会テーマは「行雲流水〟日々新　その先へ〟」としました。空を行く雲や流れる水のように、物事に執着することなく、自然のままに身を任せる意味ですが、時代や人々が求めるものをとどまることなく自然体で花火芸術を表現することを願っています。サブテーマは、自然体ながら、日々進化を続ける日本の花火に対しての期待感です。

またテーマは、花火師のみならず、大会プログラム、打上会場、観客席の安全等の大会運営も共に進化続けることを目指しています。

五年目の東日本大災害　今年も被災者をご招待

桟敷席

桟敷席の販売ですが順調に行われています。十五万人分の販売桟敷席は、７月５日の一般販売の他、旅行会社、電話、インターネットの受付も終わりました。観覧会場の増設では、今年から下流側にパイプ椅子席八，〇〇〇席を新たに設置いたします。

また、屋台の安全には昨年同



行雲流水（空を漂う雲と流れる水の意から）
自然のままの姿、また物ごとにこだわらず、成り行きにまかせて行動すること。今後"大曲の花火"もそうありたいとの願いがこめられています。

"日々新　その先へ"

様に火気取扱いの場所を厳しく限定します。

東日本大震災から4年5か月が経ちました。今年も、大仙市では被災地の方々を招待いたします。

池辺信一郎氏 河瀬　直美氏 新しく審査員に

競技・審査員

今年も全国から選抜された28人の花火師たちが、日本一をかけて最高の作品をもち大曲に参集します。

審査員ですが、芸術部門の審査員が交代しました。新しく音楽部門でNHKの大河の音楽等を手掛け活躍している音楽家、池辺晋一郎氏。また、カンヌ映画祭で著名な映画監督の河瀬直美氏が審査員となります。芸術的視点での審査に期待が高まります。

大会提供　洋から和へ 「あさきゆめみし」

大会提供

大会提供は「あさきゆめみし」です。昨年の大会提供花火は「BOLERO」で、大変好評を博しました。プログラム、音楽や上層部で開花する28花火師の花火は見事でした。昨年の「洋」から今年は「和」です。企画部会と地元花火師が総力を挙げ打ち上げます。

開局「FMはなび」 花火会場から生中継

FM放送

コミュニティFMが8月8日に開局いたします。会場に入れない方々に、打上会場から生中継いたします。放送によりリアルタイムに打ち上げ順番や音楽が聴けます。また、花火研究家の小西享一郎氏の解説も楽しみです。このFMは仙北平野一帯で聴く事が出来ます。多くの方々に利用して頂きたいと思います。

☆ ★ ☆

今年も大曲の花火を楽しみにしていらっしゃるみなさん、花火会場にお出でになる方々はもちろん、会場に来られない方々もNHKBSのテレビや「FMはなび」などで、ご一緒に、あの感動を分け合いましょう。好天を祈るばかりです。

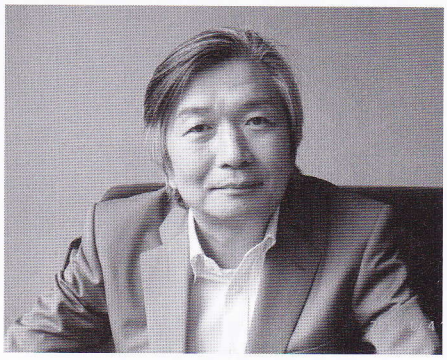


ひでよし――ひょうたん
お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。
未成年者の方にはお酒をお販売しません。
秀よし
(名)鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

旬の秋田が高輪に。
Dining & Shopping
あきた美彩館
Akita Bisaikan
京急本線品川駅　JR品川駅　高輪口　徒歩3分
東京都港区高輪4丁目10-8
ウィング高輪WEST-Ⅲ 1階
TEL 03-5447-1010　http://www.akita-bisaikan.jp/



大仙市で活躍する企業訪問シリーズ⑨



代表取締役社長　佐々木　訓弘

（株）秋田ルミナの厳しいモットー

「品質方針」「環境方針」

切削加工

直径２ミリから200ミリまでの製品の加工を得意とする。ロボット付きの機種も多数あり、材料を自動支給し量産加工も行う。複合旋盤による特殊形状の加工も可能。

アセンブリ

エンジン用の燃料、オイル、エアークリーナー等に使用される各種センサーや、産業機械のエンジン等オイルフィルター、フィルタ目詰まり等を検知するセンサー等の製造・組立て

プレス・溶接・他

クランクプレス機で産業機械部品や自動車部品のプレス加工。TIG溶接機では、薄肉ステンレスパイプの難しい溶接も行う。
研削盤やフライス盤等の汎用機も多数所有し様々な加工を行う。

株式会社 秋田ルミナ

設　立　1971年10月26日
所在地　秋田県大仙市大曲西根字元木108
TEL　0187－68－4040
FAX　0187－68－4160
資本金　5,000万円
社員数　107名（平成26年5月末）
売上高　15億円
（第42期　平成24年度）

沿　革

株式会社　ルミナ

・昭和41年　創業者佐々木弘三が東京都品川区に（株）ルミナを設立、自動点滅器の製造・販売を開始

株式会社　秋田ルミナ

・昭和46年　（株）ルミナが旧大曲市に（株）秋田ルミナを設立
・昭和46年　自動点滅器並びに自動車部品のセンサーを製造開始
・昭和51年　自動車部品の切削加工分野に進出
・平成15年　自動車部品の環境規制対応部品に進出
・平成18年　ISO9001認証取得
・平成20年　ISO14001認証取得

PT.TOKYO　LUMINA　INDONESIA

・平成25年　インドネシア共和国に　PT. Tokyo Lumina Indonesia設立

―親会社の創業はいつ、どちらで。主たる製品は何ですか。

昭和41年５月、創業者の佐々木弘三が東京の中延にルミナを設立しました。熱で曲る金属のバイメタルを利用した「自動点滅器」を生産しました。光を感知して、暗くなると点灯し、明るくなると消灯する街灯のセンサーです。

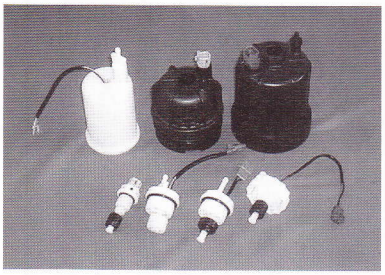
―秋田ルミナの設立は？

昭和46年10月に、東京で製造していた自動点滅器を秋田に移管しました。東京の工場では手狭になり、創業者の出身地である当時の大曲市に工場を建て移管したものです。

―現在は、輸送用機械のパーツが主要製品となっていますが・・

当社では主にトラック（大型・中型・小型）のディーゼルエンジン回りに取りつく部品を製造しています。

・エアークリーナーの目詰まりを感知するセンサー
・燃料の軽油と水を分離し、水の溜まり量を感知するセンサー
・エンジンオイルの汚れ具合で交換を促すセンサー
・オイルエレメントのエンジン側のネジ
・フィルターを固定するボルトや、排気ガスを綺麗にするクーラーの部品など。

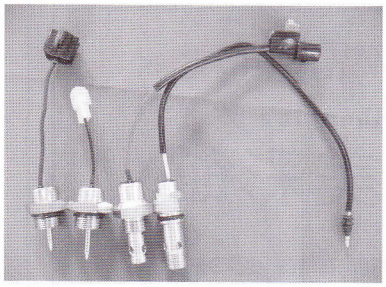


ディーゼルエンジンの燃料は軽油。
その軽油に含まれる水分を検知するセンサー

昔のトラックは真っ黒な排気ガスを撒き散らして走るイメージがありましたが、これらの部品が出来たことで新型のトラックは乗用車（ガソリン車）並みに排気ガスが綺麗になりました。地球環境に優しいクリーンディーゼルを実現させています。

―これら御社の製品はどんな車に取り付けられていますか。

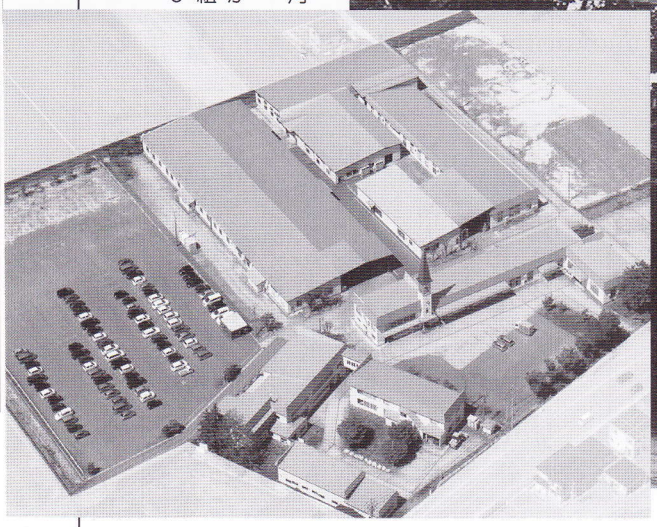
トラックメーカーに直接納入はしていませんが、業界で言われるTier２呼ばれる２次下請けのポジションで、いすゞ、日野、三菱ふそう、UDとトラックス、ボルボなどほとんどのトラックに弊社の製品が使われています。

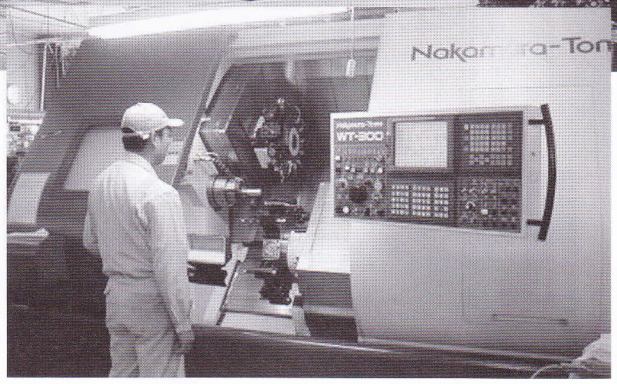


エンジンオイルを濾過するオイルフィルターの目詰まりを検知するセンサー



写真右は、秋田ルミナの正面。大曲花火大橋を渡ると右手に三角屋根。本社のシンボル。
下の写真は、秋田ルミナ上空からの全景写真。機械加工部門、組付部門、プレス溶接部門など、8つの工場棟に分かれている。





機械製造部門にある最新のCNC旋盤。CNC旋盤は加工物を高速で回転させバイトと呼ばれる刃物(工具)を当てて切削する機械

―御社のモットーは厳しい「品質管理」と聞いています。どのような努力をしていますか。

当社の主力製品はトラックの部品です。採用されている多くの部品が「車の安全」に関わっていますので、製品の品質を満たすことが最重要課題であることは「品質方針」に掲げられている通りです。そのことを全社員が理解するために、製品の機能、要求事項について日頃の業務の中で教育を行っています。

また各部門では年間計画を立て、品質向上を目的に活動しています。当社は2006年5月にISO9001品質マネジメントシステムの認証を取得しました。マネジメントシステムは継続的な改善を求めていて、それを全社員が自覚して、自社の製品を通じて社会に貢献できるよう、日夜励んでいます。

企業活動を通して環境を汚さない意識

―「環境方針」にも厳しい自己規制を敷いていますね。

社の「環境方針」の中に理念を謳っています。そこには、企業活動が私たちの暮らす地球に、いかに多くの影響を及ぼしているかを自覚して、環境を汚さないことを自社の活動を通して実践していくべきものと考えます。

製作に当たっては必要な資源である材料、材料については不良を作らないこと、必要以上に作らないこと、必要なエネルギーである電気はいかに効率よく使うか（無駄な使い方をしない）について環境マネジメントシステム（2008年10月ISO14001を認証取得）の活動の中で取り組んでいます。

廃棄物の削減は、例えばNC旋盤で製品を加工するときは、色々な種類の材料を使い、それぞれの種類の切削屑が出ますが、それらを確実に分別し、廃棄物ではなく有価物として再利用、リサイクル処理に回します。汚れた排水は最も身近な環境汚染と心得ています。

製品加工には大量の切削油を使います。それは排水ではありませんが、その油が工場外に流出しないよう、工場内の清掃を心掛けています。万が一流出した場合、被害を最小限に食い止めるよう年一回、【油流出時の対応】訓練を実施しています。



機械製造部門にある工作加工機械の数は百台を超えている



朝礼後のリーダーミーティング

―社をあげて細かな点に配慮し、環境や品質管理に取り組んでいることがよく分かります。ところで従業員の構成はどうなっていますか。

男子65名、女子26名です。年齢別では、20代17名、30代26名、40代38名、50代7名、60代3名です。平均年齢が40歳未満の、比較的若い年齢構成です。

従業員の８割が大仙市内の居住者

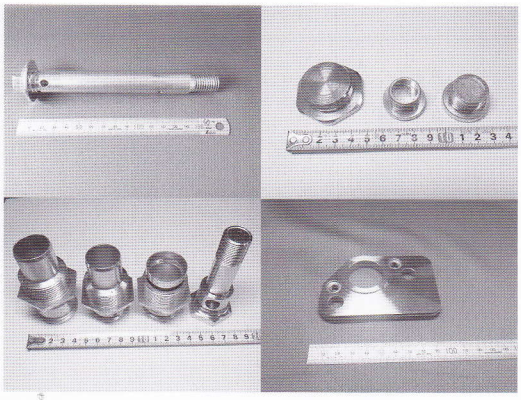
―従業員の居住地はどうですか。

８割弱の70名が大仙市内居住しています。他には、横手市９名、美郷町９名、仙北市２名、湯沢市１名です。

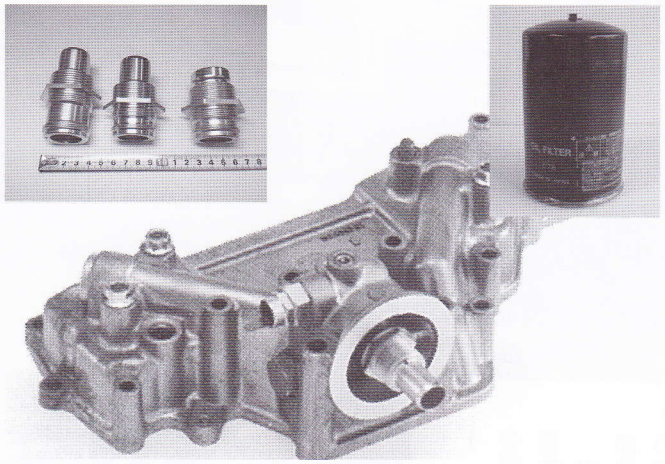
―ほとんどの従業員が地元大仙市ですね。厚生活動は活発ですか。

はい、余暇には社員同士の親睦を図る目的で、野球部のクラブ活動が盛んです。大曲商工会議所が主催する伝統ある野球大会が開催されますが、これにも参加して、地元企業の社員との交流も深めています。

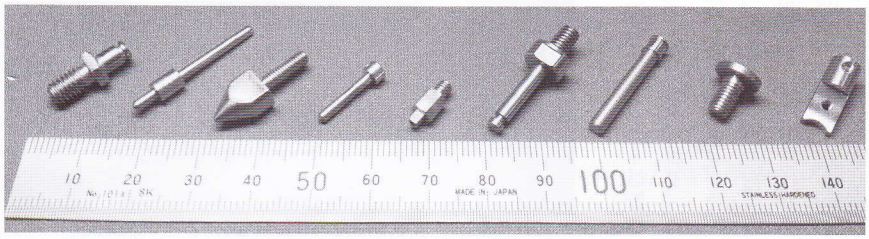
第45回大会では準優勝の活躍をしておりますし、３位入賞も２回あります。練習や試合が終わった後の懇親会も楽しいみたいですね。



出来あがったボルト、バルブ、プラグ、フランジなど。部品の各寸法は100分の1ミリ単位の高精度で加工している



高温になったオイルを冷却するオイルクーラーに取り付けられる部品。黒色の円柱形は濾過するフィルター。これを取り付ける継ぎ手を生産している



秋田ルミナは一般的な電子機械の回路基板を作成する機械の部品製作も行う。並べてあるスケールと見比べるとその大きさがわかる

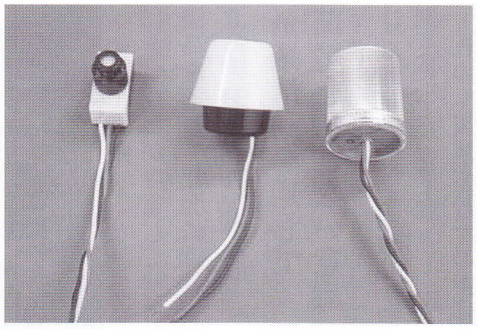
"大曲の花火"の日は観光客に駐車場開放

―地元への貢献活動はどうですか。

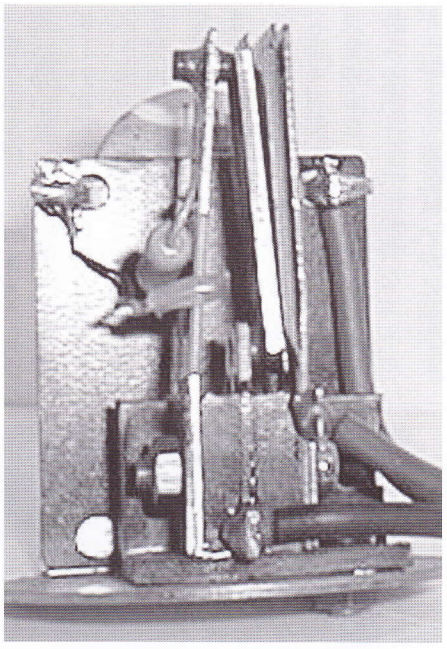
毎年５月に開催されるチャレンジデーに合わせ、工場敷地内及び周辺の清掃活動などを行っています。また８月の大曲の花火大会では、当社の駐車場を花火駐車場として開放し、多くの観光客をお迎えしております。

―近隣の学校からの就業体験などを受け入れていますか。

毎年、大曲工業高校と大曲技術専門学校から、各３名程度を受け入れています。当社は機械加工を主体としているため、毎年、就業体験希望者は男子のみです。体験者からは、「学校では使わない工作機械を見学でき、またそれぞれの仕事の重要さや、働くことの意味を学びました。この経験をもとに、自分の将来についてよく考えてみたい」といった感想が聞かれました。みなさん大変真面目で一生懸命、将来の進路を真剣に考えて働く様子が良く分かります。



自動点滅器。そのスイッチがバイメタルリレー



ルミナのルーツはバイメタルリレー。熱で曲る金属板「バイメタル」がスイッチの役

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで
遊ったりのんびり
喜ぶ顔がみたいから
姫神温泉
スパ西遊喜 大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639



試合の後は七輪囲んで焼肉と秋の味覚



準優勝を勝ち得た秋田ルミナチーム

秋田ルミナ野球部戦歴

主催　大曲商工会議所

第47回	第３位	平成17年
第45回	準優勝	平成15年
第40回	第３位	平成10年

元気はつらつ ☆ 秋田ルミナ社員



清掃活動―路上だけでなく溝の中まで





クジ引きに人気集中　大忘年会







大曲の花火の日は、広い駐車場を開放。
各地からの観光バスや乗用車で一杯に

現状に甘えず新技術で市場開拓

―有難うございました。今後御社が目指すところは何でしょうか。

現在トラックの需要は旺盛で、当社の受注も好調、売上高も伸びています。しかしいつまでも現状が続くとは限りません。現状に甘えることなく、新しい技術への取組み、新規市場の開拓を進める中で、トラック関連の受注を落とさず、新しい分野の売上げを伸ばすべく頑張ります。

新しい多くの情報と柔軟な変化が望まれる

―それでは最後に、従業員並びに大仙市への要望をお聞かせください。

製造業は時代の流れ、お客様の要求、競争相手の存在によって、常に柔軟な変化が求められています。変化することができなければ、企業は生き残ることができません。そのため社員一人ひとりが問題意識を持ち、常に新しい情報を取り入れ、他社に負けない技術を生み出して欲しいと考えています。そのためにも、大仙市ご関係者の皆さまから、これまで以上に多くの情報を戴けることが、今後の発展に繋がると思っています。

渡辺玲子さんと坂野伊都子さん

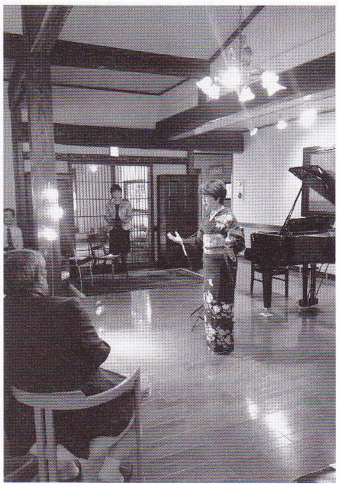
森と水の調べ　抱返り渓谷


都わすれの庭園で

バイオリンとピアノのコンサート

夏瀬温泉　都わすれ


都わすれロビーの「森と水の調べコンサート」


常に真心をモットーにして、とお礼の挨拶をする佐藤京子女将

ホタル乱舞する渓谷

感動と感謝の音楽会開く

首都圏大曲会会員の佐藤京子さんが女将を務める乳頭温泉郷「妙乃湯」は今年創業65年、夏瀬温泉「都わすれ」は10年と、それぞれ記念すべき年を迎えました。

これを記念して6月26日、都わすれを会場に、バイオリンの渡辺玲子さんとピアノの坂野伊都子さんをお招きして「森と水の調べ・抱返り渓谷」と題する音楽会を開催しました。聴衆はこの日、妙乃湯と都わすれに宿泊されたお客様。

この時期、雪深い地にあって、春から夏へと移り変わる頃の、さんざめく木々の芽生え。そして日一日と緑を濃くする季節の巡りは、この地に住む人々に活力をもたらし生活を讃歌し、無上の喜びを与えてくれます。

この日、山や川、森や吹き抜けていく風の道も含め、一万坪にも及ぶ都わすれの敷地いっぱいに明るい日の光りが降り注いでいました。渓谷を流れる水音がすぐ耳元に聞こえ、夜ともなれば流れにそってホタルが乱舞し、流れ来るバイオリンの音色に合わせて踊っているかのよう。森羅万象、吹く風までが祝福の音楽会でした。（大）


切れ味鋭い渡辺玲子さんのバイオリン演奏（ピアノは坂野伊都子さん）

お客様には常に優しく心を込めて

佐藤京子女将の話

バイオリンが奏でる音に耳を傾けながら、沢山のお客様に支えて頂いて今日があることを思い、感慨新たに、感謝の気持ちで一杯でした。そして私たちが今出来ることは、お客様一人ひとりに常に優しく、心を込めて接することだけだと考えていました。本当に有難うございます。

大仙市　首都圏ふるさと会

平成27年度／懇話会開く

８市町村が合併して誕生した大仙市には、旧自治体のもとで活動していたふるさと会が８つあります。

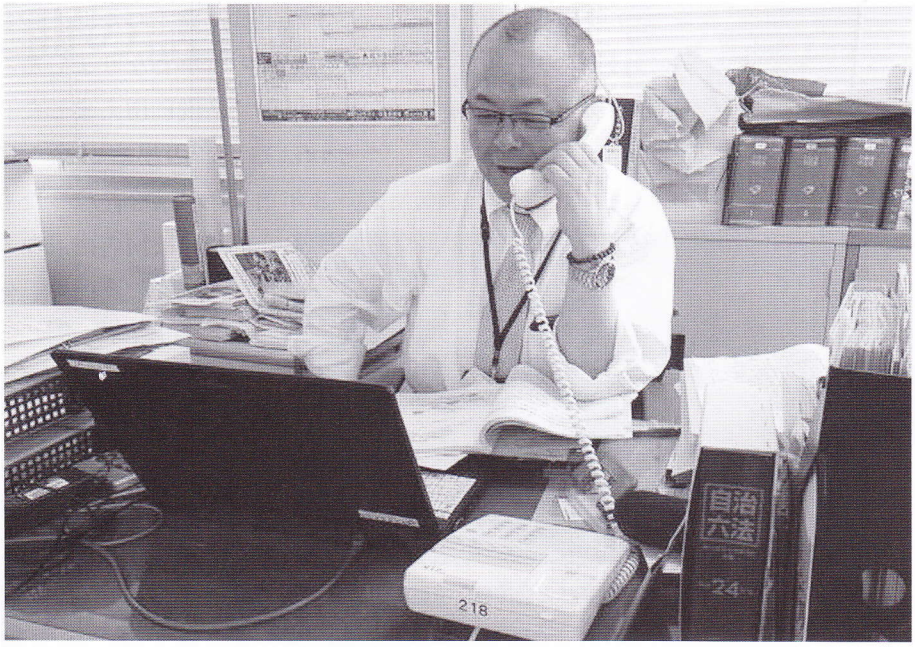
この８つのふるさと会は毎年の活動に先立ち、各ふるさと会が持ち回りで幹事を務める懇話会を開催しています。大仙市役所からも担当の職員が出席し、市の方針と各ふるさと会の活動に齟齬を来さないよう調整し、また大仙市とともに各ふるさと会の情報を交換することで、それぞれの活動機能を密にしていくことを目的にしています。

今年は昨年の大曲会に引き続き東京嶽雄会（旧神岡町）が幹事となり6月21日、港区新橋生涯学習センターで行われました。市からは企画部まちづくり課高橋正人課長が出席して、今年度予算や事業などを含む大仙市の近況の報告がありました。続いて10月16・17日に有楽町で開催する「大仙市物産フェア」の説明があり、これには商工観光課と観光物産協会からの出席もありました。

その後各ふるさと会の現況を報告し、正午、予定通り終了しました。

大仙市　まちづくり課を新設
課長に高橋正人氏就任

大仙市が誕生して10年。市は地域特性や独自性、特色ある地域資源を生かした地域活性化策を企画・推進、ふるさと会等他の支援、連絡調整等を主要業務の「まちづくり課」を企画部に新設しました。課長はお馴染みの高橋正人さんです。



執務中の高橋正人課長

地域活性化が最重要ミッション
ふるさと会との連携もより強く

「だいせん日和」四月号に、「新たな部門の設置と人員配置で重要政策に取り組む」とあるように、この人事異動は大仙市の並々ならぬ意気込みを感じます。新課長の高橋正人さんを訪ねました。

―　課長ご就任おめでとうございます。「まちづくり課」誕生の背景、主たる業務についてお伺いいたします。

高橋課長　従来の企画部総合政策課地域政策班が独立する形で設置されました。

主な業務はこれまでの内容を引き継ぐ形となっていますが、首都圏各ふるさと会の支援や連絡調整、それぞれの自治会・町内会、各種地域団体の活動支援、ふるさと納税のPRや収納、大曲地域の循環バスや各地域の乗合タクシーなどの地域公共交通の運行など。また、各地域の桜を市民のみなさんと一緒に守り育てる桜守プロジェクトなどもあります。

地域活性化策を積極的に企画し促進する

―　各支所に「地域活性化推進室」も設置されました。

高橋課長　はい、各支所単位に「地域活性化推進室」が設置されました。それぞれの地域の特性や独自性、特色ある地域資源を活かした多岐にわたる地域活性化策を企画・推進してまいります。

10歳を数えた大仙市は、これまでの「基礎固め」に続く次のステージは、各地域の特性・独自性を活かした地域おこし・活性化が、私たちの使命と考えています。

―　職員構成はどうですか。

高橋課長　私の他に、班長の田口美和子主幹、高橋靖弘主席主査、田村将悟主任、佐々木翔主事、佐藤淳哉主事の六名による構成です。若いメンバーが揃っています。

―　大仙市におけるふるさと会の存在意義、ふるさと会への期待についてお伺いします。

高橋課長　ふるさと会の皆さまからは、「ふるさと納税」をはじめ色々な形でご支援ご協力を頂き心から感謝しております。企画部に配属される前から、ふるさと会の存在は承知していましたし、「首都圏仙北町ふるさと会」の総会にも参加したことがありました。

その後総合政策課に配属され、現在のように各ふるさと会の皆さまと触れ合うようになったことで、皆さまの大仙市に対する思いが非常に強いことを改めて知りました。

地元民が気づかない大仙市の魅力などを

平成25年11月の「大仙市ふるさとフェア2013」では、各ふるさと会の役員の皆さまによって組織された実行委員会から、企画・立案、当日の運営まで多大なご協力を戴きました。皆さまと意見を交わしている中で、地元民の気づかない大仙市の魅力やアピール出来る分野など、様々な情報を熱く語ってくださいました。私がそれまで思っていた以上に、ふるさとを想い、愛している印象を強く受けました。

これからも首都圏大曲会の皆さまには、熱い想いとともに情報の交換など、様々な形でご協力をお願いします。皆さまと一緒に大仙市を盛り上げて行きたいと思います。

―　有難うございました。最後に新課長の抱負をお願いします。

高橋課長　大仙市の新たな10年がスタートしました。先にも述べた通り、地域の特性や独自性、特色ある地域資源を活かした地域の活性化が、私たちの重要なミッションであると考えています。

地域に暮らす人々が手を取り合い、助け合い、そして楽しみながら心豊かに生活ができ、昔からの「結い」が生まれ、持続する地域になることを願います。大仙市のために「やらなければならないこと」と、私たちに「できること」が少しでも近づく努力をしたいと思います。

（文責　大釜）

大仙市・神奈川県座間市

「友好交流都市」を締結

大仙市は今年３月21日（大仙市誕生10周年祝賀式典挙行日の前日）、神奈川県座間市と「友好交流都市」となる協定の締結式を行いました。

座間市との交流は平成３年11月に開催された「座間市民ふるさとまつり」に、旧中仙町が初めて参加したことから始まったものです。

これは座間市在住の、ドンパンふるさと中仙会会員の橋渡しによって実現したもので、そこでは毎年市民レベルによる市民相互の交流が続けられていました。

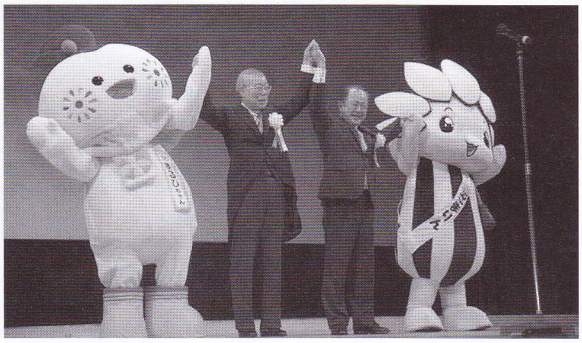
こうしたことの積み重ねから平成10年5月に、中仙町と座間市との間で相互応援協定を締結、平成17年７月には、市町村の合併によって大仙市と座間市による災害時相互応援協定を締結しています。

以後、毎年災害対策連絡会議を持ち、今年度は5月に第9回目となる会議を大仙市で開催しています。

このほか平成26年７月には、座間市国内友好都市推進委員会の委員が大仙市を視察し、8月には座間市子ども会育成会連絡協議会のジュニアリーダーズクラブが大仙市を訪れ、小学生・高校生と交流しています。

さらに10月には、座間市議会議員の皆さまが大仙市を訪れ、大仙市市議会議員との交流が行われました。

この度の大仙市誕生10周年を機に、これまでの20年以上にわたる座間市との交流をより強固なものとし、今後は防災分野に加えて、産業、経済、文化、教育、スポーツなど幅広い分野へ広げていき、持続的に友好交流を行っていきます。



「まるびちゃん」「ざまりん」と栗林大仙市長、遠藤座間市長

花火通りの「七夕花火大会」

短冊に保育園・幼稚園・小学校、養護学校児童らの願いを込めて

７月４日、大曲駅前花火通り商店街の七夕花火大会が催されました。以前は花火の街の花火大会にしては規模が小さいなどと酷評されたこともありました。10年ほど前から地域内の保育園・幼稚園・小学校・養護学校の協力を得て、笹竹の短冊に子どもたちの願いを書いてもらい、今ではその数も30本に達し、いちだんと賑やかになって商店街を飾るようになりなりました。

そして、打ち上げる花火には園長先生や校長先生から子ども達へのメッセージが添えられました。

丸子橋の空き地では【夕焼け音楽祭】が開催され、全国レベルの力を持つ大曲小学校と花館小学校のマーチング部が演奏してくれています。

ここ数年は、ライバル同士の合同演奏が恒例の行事となりました。お客様も毎年、格段に増えました。

それは露天商の出店が徐々に増え、８年前はわずか3店だったものが今では14店にもなりました。子ども達も、何日も前から何を着ていくか、誰と行くかと話題に七夕花火を楽しみにしていると言います。

イベントの開催に金をかけられない商店街の工夫ですが、来会者にどのように楽しんで貰いたいかなどを真剣に考え、開催の当事者たちが汗を流す行動こそが大切だということを学びました。そして何よりも、それを続けることこそが大事であることも知りました。（「土屋館通信」７月３日号　＝辻卓也さん提供）

10月16日（金）・17日（土）

大仙市の物産フェア 2015 in 有楽町

一昨年以来、東京・有楽町駅前広場を中心に開催して好評の大仙市「ふるさと物産フェア2015　in 有楽町」が、今年も開催されます。

大仙市から直接持ち込んだ懐かしくそして新鮮な農産品や特産品の販売です。1,000円以上の購入者には、大仙市の特産品が当たる抽選券を差し上げるなど新企画も盛り沢山です。どうぞお誘い合わせてご来場ください。

秋田清酒株式会社
秋田県大仙市戸地谷字天ケ沢八三の一
・お酒は二十歳になってから。お酒はおいしく適量を。
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。
雪蔵銘醸 出羽鶴
TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277
秋田の心を醸す
大地の恵みとともに
お陰様で刈穂蔵は二年連続
全国新酒鑑評会で金賞受賞いたしました。
伝統の銘酒 刈穂
http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

COCO
さくら
と
愉快な仲間達
シャベール
RUN
ゴルフ
乾杯!
しろくま
小唄
三味線
カラオケ
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-12-16
セントフォービル B1
TEL/FAX 03-3359-6912

大曲の話題



大仙市の旬を首都圏でも！
ＦＭはなび
８月８日（土）開局

地域の「話題」を地域の「言葉」で
地域の「人たち」に伝える
「おらほのらじお」

今年８月８日(土)、大仙市コミュニティＦＭ局「ＦＭはなび」が開局します。

「ＦＭはなび」は、地域に密着した情報を中心にした大仙市の「今」を伝え、特に災害時には安全安心につながる責任ある情報を的確に伝える情報伝達ツールとして、その機能を発揮します。秋田県全域の情報を主体とした県域放送では、なかなか取り上げられない大仙市の情報。

その点「ＦＭはなび」は「おらほのラジオ」として、身近な話題やまちの元気を即刻伝えます。

首都圏でも聴取できます

「ＦＭはなび」は大仙市を離れた首都圏にいても、インターネットを利用して、パソコンや携帯電話等で聴くことができます。ふるさと会のみなさんもぜひ「大仙市の旬」をご愛聴くださいと、大仙市では呼びかけています。

＊パソコンでは専用サイトを開いて聴取してください。iPhoneやAndroidなどの携帯電話からは、専用アプリを使用して聴取することができます。ＦＭはなびで検索してください。これには聴取エリアの制限はなく、全国及び全世界で聴取が可能です。

良くやった、感動したぞ！
大曲工業高校野球部

３月21日から4月1日まで、春のセンバツ「第87回選抜高等学校野球大会」が阪神甲子園野球場で開催されました。大曲工業高校は東北地区代表として、仙台の東北高校とともに選抜されて出場、大健闘をしたことはみなさんもよくご存知の通りです。

今年の入場行進曲は昨年大流行した「Let　It Go ～ありのままで」でしたが、春夏を通して初出場だったにも関らず大曲工業高校ナインは、音楽に合わせた堂々の入場行進。この行進を見ただけでも大満足、感動の涙が止まらなかったという声が数多く聞かれました。

３月22日に行われた大仙市誕生10周年＆受賞祝賀会の会場でも大曲工業高校野球部健闘への期待は大きな話題となっていました。

３月24日の第１試合として行われた香川県の英明高校との対戦は、４対１で堂々の勝利。冴える武田投手の腕と球筋、強打の佐々木(駿)選手の活躍に誰もが満足しました。

３月27日に行われた2回戦の相手は、強豪で野球伝統校の埼玉・浦和学院高校。これも開始早々、赤川選手のホームランには度肝を抜かれました。武田投手の調子からして、これは勝ったと思わせる試合展開でした。しかしさすがは伝統校。甲子園で優勝経験すら持つ浦和学院に一歩及ばず敗退の涙を飲みました。

しかし、それでも大曲工業高校野球部は良くやった！「東北に大曲工業高校あり」の名声を高らかに知らしめたのです。そして大曲工業高校は学校応援団を対象とする「応援団賞」を(写真上)県内で初めて受賞しました。まさに学校を挙げての快挙でした。おめでとう！大曲工業高校のみなさん。



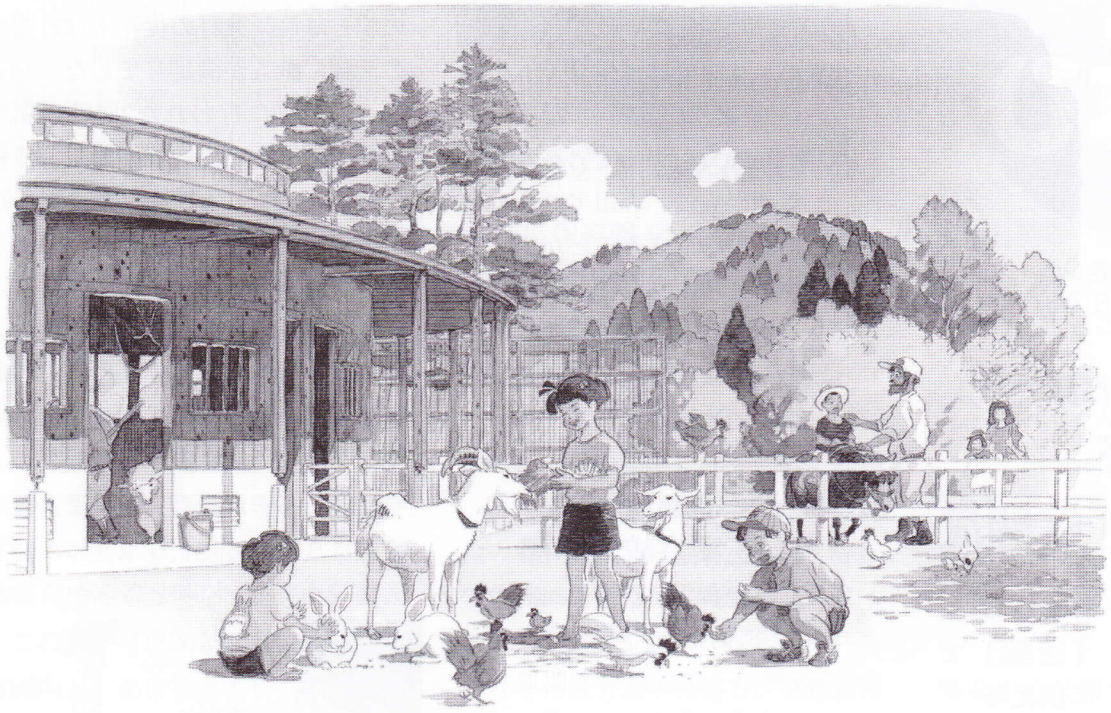
夏も期待します。頑張って…
栗林市長もチームを激励

大曲工業高校野球部は、４月17日、草彅校長先生、佐藤野球部部長、岡本主将の３人が、栗林大仙市長を訪問して、大会の報告をしました。市長も敢闘をねぎらい、夏の健闘を期待しますと激励しました。

ふるさと納税のご案内

― ふるさとがいきいきと輝くために ―

ふるさと納税制度は国民の義務としての税金ではありません。それは、「ふるさと」に貢献したい、「ふるさと」を応援したいという人々の思いを生かすための制度です。大仙市では「大仙市ふるさと応援基金」を創設し、多くの方々から寄せられた寄附金を運用して各種事業に活用します。



観光や高齢者福祉、子育て教育等に活用

みなさまから寄せられた貴重な寄附金（ふるさと納税）を大仙市では、次の４つの事業の推進に役立てています。

1　観光分野

魅力ある観光資源を活用した観光交流事業

2　高齢者福祉分野

老いを楽しみ、地域が支える高齢者福祉に関する事業

3　自然環境分野

次代に残す豊かな自然環境の保全に関する事業

4　子育て教育分野

健やかな成長を願う子育てと、教育の充実に関する事業



保育園の先生の読み聞かせに園児たちは夢中です（刈和野保育園）

「ふるさと納税文庫」について

「ふるさと納税」を活用した「ふるさと納税文庫」は、平成23年度と24年度の二か年事業として始めました。しかしその後、これまで設置した小・中学校に加えて、大仙市内の認定こども園、幼稚園、保育園にも当該文庫の整備が行なわれ、園児たちも大喜びでした。



「ふるさと納税」として寄附の手続法

1、寄附申込み書による申込み

○寄附申込み書に必要事項を記入し、郵送、Fax、または電子メール、もしくは直接、大仙市役所まちづくり課にお申込みください。

○申込みの際に、入金方法など寄附の方法をお知らせください。

○寄附申込み書は大仙市役所のホームページからも入手できます。

←

2、納付書の送付

○お知らせいただいた寄附の方法に基づき、大仙市役所まちづくり課から納付書をお送りします。

←

3、寄附金のお振込

○納付書により、最寄りの金融機関などから寄附金をお振込みください。

←

4、寄附証明書の発行・送付

○寄附して頂いた皆さまには後日、大仙市役所から寄附証明書を発行・送付します。

男鹿和雄さん（大仙市出身）

懐かしい光景。ふるさとの思いに浸る牧歌的で安らぎを覚えるこの絵は、大仙市ふるさと納税キャンペーンのために、大仙市太田地域出身男鹿和雄さんが画かれたものです。

男鹿さんは高校卒業後上京し、デザイナー学校に入学。一九七二年からアニメーション美術を手がけています。幾多のスタジオジブリ作品を描き、「となりのトトロ」では太田地域の原風景が数多く登場しました。

男鹿さんの描く懐かしい空、山、そして田園風景には私たちの「ふるさと」がいっぱい詰まっています。緑あふれる大仙市を愛するみなさまの、暖かいご寄附（ふるさと納税）をお願いいたします。【「ふるさと納税のご案内」より】



中学生時代の読書は人の一生を左右する大切な糧である（南外中学校にて）

寄附した人が税金の控除を受ける手続き

1、確定申告

○最寄りの税務署で確定申告（翌年の2月～3月）を行うことで、税制上の優遇措置が受けられます。

○確定申告の際、大仙市が発行した寄附証明書を添付します。

←

2、個人住民税通知書の送付

○お住いの市区町村から寄附金区分が控除された個人住民税通知書が送付されます。

＊寄附先の自治体が5つ以内で、普段自ら確定申告を行っていない給与所得者は、大仙市が控除申告を代行することが可能です。（ふるさと納税ワンストップ特例制度）

詳しくは大仙市役所までお問合せください。

◇◆◇ご寄附頂いた方へ◇◆◇

「ふるさと納税」として寄附してくださった方に、ご希望により、市の広報紙「だいせん日和」の一定期間無料送付と、寄附金額に応じてお礼の品をお送りします。詳しくはお問合せください。

ぬく温もりの気持が通う「ふるさと納税」

お問合せは

大仙市役所　企画部　まちづくり課

〒014－8601　秋田県大仙市大曲花園町１－１

TeL　0187－63－1111（代表）

FAX　0187－63－1119　E-メール：machi@city.daisen.akita.jp

http：//www.city.daisen.akita.jp/

カメラ紀行

残雪と新緑を求めて

旅人　斎藤貞助
（首都圏大曲会幹事　事務局長）

田子倉ダム湖を訪ねる

好評の「カメラ紀行」、今回は残雪の中に鮮やかな新緑を求めて、福島県南会津郡の只見町に旅していただきました。この界隈はわが国屈指の豪雪地帯。本誌旅人が訪れた５月中旬でも山肌には雪が残り、主流の只見川を目差して流れ下る谷川は、雪解けの水を集め騒然と音を立てていました。

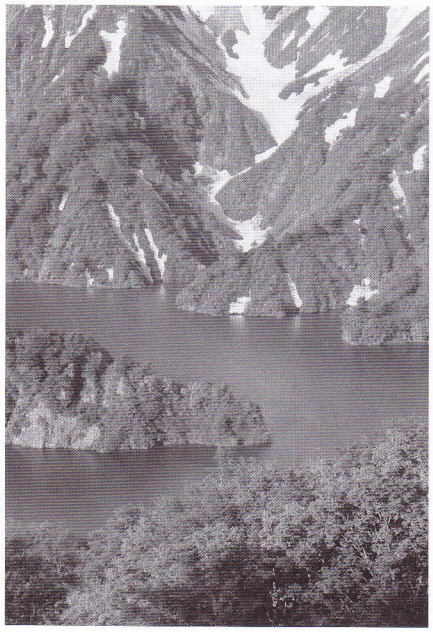


山肌に残る雪

阿賀野川水系只見川は日本屈指の水量に恵まれた地帯。豪雪がつくり出す豊かな包蔵水が、川沿いに建つ多くの水力発電所を動かす。５月の残雪がそのエネルギー源だ。



新緑輝いて



冬からの日覚め

◇豪雪が水力発電を促して

田子倉（たごくら）湖は福島県西部に位置し、只見川上流に一九六一年（昭和36年）完成した田子倉ダムによって生じた人造湖。その湖水面はダム地点から約12キロ上流の大鳥ダムまで細長く延びるほか、右岸支流谷戸川の深い谷に約７キロも入りこんでいます。

田子倉ダムの貯水量は猪苗代湖を凌ぎ、最大出力は38万ｋｗ。越後三山只見国定公園の一部になる観光地です。

只見川は、福島・新潟両県を貫通して日本海に注ぐ阿賀野川水系最大の支流。最上流部は福島・群馬県境にある尾瀬沼からの沼尻川と尾瀬原を通るヨッピ川とが合流します。豪雪地帯として豊かな包蔵水が、只見特定地域総合開発計画の対象になりました。本流沿いに奥只見、大鳥、田子倉、滝、本名、上田、柳津、片門等発電所が並びます。



夜明けの田子倉ダム

５月も半ばというのに空気は冬の寒さを残している。新緑と残雪を求める旅。福島県と新潟県との県境、昔から峠越えの難所で知られる“六十里越え”付近。ダム湖を見下ろす絶好のポイントに着いたのは早朝５時半だった。北東の空を紅色に染めながら太陽が昇る。萌え出した周囲の山々をうっすら朝もやが包む。



麓の里山一帯は花が咲き終わったというのに、田子倉湖ダム周辺はこれから本格的な春がやってくる。萌え出した林の中からは、いろいろな種類の鳥の囀り。雪解けを集めて流れくだる谷川の音は水量を増して豪快だ。周りの山々からの雪解け水をまんまんと蓄えた湖。水面に横たわる半島は、のんびり春の日を浴びる巨竜のようだった。



新緑と雪解けの水



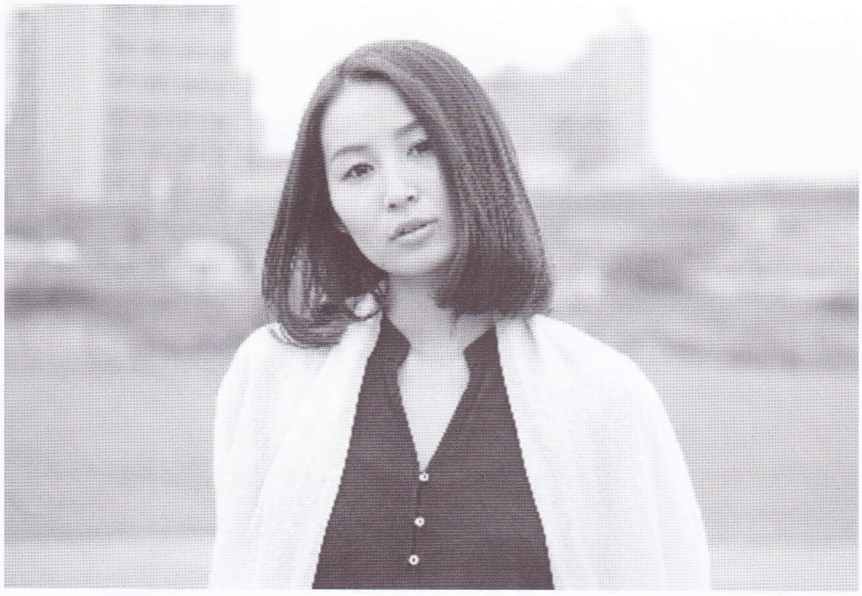
気だるい春



走り下る

応援してます!

♣大曲出身の若手アーティストたち



ねえ　大仙市内小友出身の結香さん
6月発売　通算5枚目をリリース



「ねえ」のCDカバーから結香さん

Yuka　神過ぎる歌姫として人気の結香さんが、6月15日、新曲「ねえ」をリリースしました。これは結香さんの5枚目のシングル盤。故郷を離れて頑張る人たちへの応援歌であり、また故郷を賛美する歌として注目されます。

「ねえ」は大仙市内小友出身の結香さん本人の作詞によるもので、首都圏で暮らし、それぞれの道で頑張っている人への応援ソングです。離れてみて初めてわかるふるさとの素晴らしさを、優しく素直な気持で表現しています。

発売以来好評の売れ行きを見せているこの歌は、大仙市公式PR映像のテーマ曲に決定しました。「ねえ」のCDは、1,296円。

故郷を離れて頑張る人へ
大仙市PR映像のテーマ曲にも

大好評の家族ライブ
津軽三味線の畠山光洋さん
シーズンを前に鍛える



ライブ中の畠山光洋さん

尺八家元の父親と民謡歌手の千葉とし子さんを母に持つ津軽三味線の畠山光洋さん。民謡一家だけに、親子三人による家族ライブを各地で開催し、民謡ファンの根強い支持を獲得しています。今年特に光洋さんは、船橋市や八千代市などを中心にライブ活動に力を注いでいます。先には八千代市社会福祉協議会など地元団体が主催するイベントに積極的に出演するなど、これからの民謡シーズンを前に懸命に精進しています。

第19回　秋田寄席
秋田県出身　三人落語会

落語界で秋田県出身は少数派。その中で三遊亭遊里、三遊亭たん丈、柳家さん若の三人は、純粋の秋田生まれ。9月20日(日)、秋田県民会館小ホールで開催される第19回あきた寄席で、この三人が高座を務めます。

大曲出身の
三遊亭遊里さんら出演
9月20日　秋田県民会館小ホール

入場料は自由席2,000円(当日売2,500円)、遊里さんは大曲出身。現在、主な出演高座は次の通りです。

▼めいゆう(神田連雀亭)
▼巣鴨獅子座(巣鴨北口・ライブハウス　獅子座)▼ユメショク寄席(末広町・カフェトリオンプ)

◆問合せ　080-1699-1294'　または　a_tensionmanori_komagari@yshoo.co.jp

□首都圏大曲会

会員のひろば

青蛙

朱華

雨見つめ小さきままの青蛙
父の日にプレゼントをと思ふだけ
路地裏のガクアジサイ清楚なり
ゴザ敷いて梅雨の晴れ間のランチ会
一輪のあじさいの花気高く
若葉へと季節は移り来りけり
いい句だね友と喜びビール飲み

＊朱華は首都圏大曲会副会長大友律子さんの俳号



佃島慕情

黒皮羽生

三味の音こぼれる　清元の
稽古の看板　風に揺れ
過去　藤村小山内薫等の
常連の宿　海水館
昔日偲ぶ　小夜の月

お祭り囃子に　佃島燃えて
八角神輿の　晴れ姿
負けず嫌いが　耐えてなほ
筋を通した　玉の汗
佃の若衆　いさみ肌

大川端から　そそりたつ
住吉神社の　雄雄さ
お上へ献上　ひとすじに
命を賭けた　先達の
誇りも高き　漁師達

黒皮羽生（くろかわばしょう）は首都圏大曲会の古参幹事である佐藤重光さん。上京後佃島に居を構えて以来今日まで約70年間、この地で暮らす佃島住人です。

首都圏大曲会　会報
『ふるさと大曲』編集スタッフ募集中！

首都圏大曲会は会報『ふるさと大曲』の編集スタッフを募集中です。記事取材やインタビュー、写真、レイアウト等に興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。ご連絡は左記まで。（担当　大釜）

電話　03（3341）6339
Fax　03（6273）0081
e-メール：info@e-prosjp.com

『ふるさと大曲』第19号
平成27年8月1日発行
編集人：首都圏大曲会　発行人：大釜茂璋
〒162-0054　東京都新宿区河田町6－6
教育情報プロジェクト気付
電話：03-3341-6339　Fax：03-6273-0081
e-メール：info@e-prosjp.com　http：//www.supportlife.info
印刷・製本:秋田協同印刷株式会社

編集後記

〝白い花が咲いてた、ふるさとの遠い夢の日、さよならと言ったら～〟ふるさとの思い出は甘く哀しく、それはいつでもセピア色の遠い存在だった。▼たしかに首都圏は遠かった。大曲駅から十三、四時間、夜行列車に揺られて上野駅ホームに降り立ち、ほっとした思いを持つ人は多かったろうが、逆にふるさとは遠い存在になった。それが新幹線の時代。今、大曲、上野間は3時間ちょっとで結ばれ、日帰りの距離となった。こまちが走り、通信機能が発達した現在、ふるさとは遠い存在ではない。こういう時代に生きる私たちはふるさと会をどう考えるか。▼ふと気づくことがある。自分の今の行動や価値観は子どものときからの、親や地域社会から得た躾であり、風俗習慣であり、そしてそれがふるさとの文化ではないのかと。▼毎朝テレビで天気予報を見る。まず東京の天気は？。その後秋田はどうかと。晴れていれば良かったと思い、雨や雪だと気が曇る。DNAは完全に大曲だ。▼結局どこに生きるにしてもふるさと会の役目は、私たちの先人が引き継いで来た大曲的信条、大曲的文化を私たちがしっかり受け止め、後世にしっかり引き継ぐことではないのかと。それが現実であり、そこにセピア色はない。▼私たちは目先に捉われることなく、大曲もその一地域である大仙市に、常に強い関心を持ちながら、衰退を憂い発展を喜び合う一員として生き、ふるさとと共に活動することが大切である。（大釜）



憩い
安らぎ
癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ケ岳２－１
電話0187－46－2740



秋田・田沢湖・抱返り渓谷　県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や渓流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。
全室抱返り渓谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187－44－2220